

令和2年1月24日から1月31日にかけて行われた今年の町政懇談会は町民会館や各区会館などで218人の町民の皆さんに出席していただきました。説明要旨と出席いただいた皆さんからのご質問ご要望などを抜粋して掲載いたします。

町長行政報告

昨年は豊作基調の年となり、私も町政を預かる立場として、胸を撫でおろしているところで、す。また、ふるさと応援寄附金への返礼品であるお米の評判も上々であり、毎年、堅調な伸びを示しています。寄附金額は昨年を7千万円ほど超える、2億5千3百万円を推移しており、このことも喜ばしいことのひとつです。

昨年本州では、信じられない暴風と豪雨によって大きな災害の爪痕を残す年となりました。一日も早い復旧を祈らずにはいられません。ここ妹背牛町は今回も、非常な幸運に恵まれ、災害の無い地域、様々に守られている地域として感謝をしなければならぬと痛感している次第です。

令和2年度は、第9次妹背牛町総合振興計画がスタートします。現在2902人にまで減少している人口数に臆することなく、移住定住のハード、ソフト事業と、子育てしやすい町を目指した子育て支援事業という2本の大きな柱を据え、新たな妹背牛町の創造を目指すスタート

の年を宣言することになります。

全ては、住み続けられる価値と誇りを感じられる10年先のまちの姿をすべての町民の皆さまとイメージしながら進んでいきたいという願いが、この施策のすべての底に流れていることを感じ取っていただければ幸いです。

現在人口減少と高齢化の波の中で、「町内会や行政区の再編」というご意見を頂いています。今のところ行政では、それぞれの住民区自体の活動が困難であると住民区自身が判断をした段階で相談や調整を図っていくというスタンスです。総務課窓口で相談に乗る体制を作っていますので、気兼ねなく相談に来てくださいます。



第9次総合振興計画（企画振興課）

第9次妹背牛町総合振興計画を平成30年度と令和元年度の2ヶ年で作成しました。この計画の期間としては、令和2年度から11年度までの10年間となります。

アンケート調査の中で「今後のまちづくりでどの分野に重点を置いて取り組むべきか」との問いに、「一番多く回答があったのは「移住定住対策」でした。次に「空き店舗への起業家誘致」、「高齢者対策」となっていました。年代別順位比較を見ると、どの年代においても「移住定住対策」が一番多く、18歳から49歳の若い世代の回答では、全順位とは異なり、2番目に多かったのが「子育て支援の充実」でした。

アンケート調査は18項目の設問で、そのうち自由記述欄へのご意見・ご要望が245件ございました。この回答内容や245件のご意見・ご要望については、全て担当課へ振り、協議・検討を行いました。中には制度的に難しいものの、財政的に難しいもの

などもありましたが、すぐに対応できる項目は平成30年度と令和元年度で実施をしています。また、調整や協議検討が必要な項目は、出来る限り第9次総合振興計画に盛り込み、アンケート結果に最も重点を置いて策定しました。

第9次総合振興計画策定にあたり、まちの将来を見据えた目標を定める必要があり、その目標については、地域の特性を活かし、町民が共鳴し共に歩めるような共通目標となることが重要と考えています。

町民向けアンケート結果では、「移住定住対策」に力を注ぐべきとの結果であったことから、町外の方が「暮らしをみたいまち」を目指すとともに、町民が「暮らし続けたいまち」を目標として、「小さなまちから 広がるつながり 暮らしやすいまち」を10年間のテーマとして掲げ、まちづくりを進めていきます。

財政推計 (総務課)

財政推計は、今後10年先までの町の収支について推計を示しているものです。

まず、縦に青枠で囲った令和元年度の決算見込みでは、下段の収支の欄が1700万円の黒字決算の見込みとなっています(※1)。

これは、借金の返済にあたる公債費が減った事が主な要因であり(※2)、黒字決算は令和4年度まで続くと見込んでいます。

ただし、本町の歳入の約半分を占める地方交付税が、国の予算規模や国勢調査人口も影響し、今後も減少すると見込まれる中(※3)、令和2年度からスタートします、第9次総合振興計画での各種事業も、この財政推計には盛り込まれており、下段の収支の欄の令和5年度以降は、赤字にはなりません。毎年度の収支が0となり、次年度への繰越金が無く推移していく見込みとなっています(※4)。

今後も、第9次総合振興計画の実現のため、同時に策定をしました、第5次行財政改革実施計画での歳入の確保・歳出の見直しを行い、町外の方からの応援寄附である「ふるさと納税」などの財源確保にも努めてまいりたいと考えていますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

第5次行財政改革実施計画はこちらからご覧ください。



財政推計 (平成30年度決算・令和元年度決算見込ベース)

【歳入】		(単位:百万円)											
項目	H30	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	
地方税	307	274	269	265	262	257	253	249	246	242	239	235	
地方譲与税及び各種交付金	119	118	127	136	136	136	136	136	136	136	136	136	
地方交付税	1,656	※31,565	1,570	1,462	1,441	1,404	1,466	1,480	1,408	1,395	1,401	※31,386	
国・道支出金	692	595	564	549	498	454	498	407	450	913	460	418	
繰入金	189	157	193	120	122	147	186	251	225	271	221	169	
繰越金	14	58	17	94	56	19	0	0	0	0	0	0	
地方債	401	452	1,318	680	579	346	338	244	355	973	454	319	
その他	349	367	365	372	361	362	413	363	363	363	363	363	
合計	3,727	3,586	4,423	3,678	3,455	3,125	3,290	3,130	3,183	4,293	3,274	3,026	
【歳出】													
項目	H30	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	
人件費	612	620	613	589	583	560	554	543	524	522	509	488	
物件費	515	446	429	429	429	429	428	428	428	428	428	428	
維持補修費	176	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	
扶助費	199	208	209	210	211	211	213	213	214	215	216	217	
補助費等	459	554	516	514	514	514	390	390	390	390	390	390	
公債費	475	※2 336	326	333	329	318	421	456	476	472	492	497	
操出金	346	350	350	370	378	379	377	399	322	319	291	273	
普通建設事業費	695	668	1,498	780	604	326	469	312	440	1,558	559	344	
積立金	186	245	246	255	246	246	296	247	247	247	247	247	
その他	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
合計	3,669	3,569	4,329	3,622	3,436	3,125	3,290	3,130	3,183	4,293	3,274	3,026	
収支	58	※1 17	94	56	19	※4 0	0	0	0	0	0	0	
基金残高見込	1,140	1,228	1,281	1,416	1,540	1,639	1,749	1,745	1,767	1,743	1,769	1,847	
年度末起債残高見込	2,828	2,953	3,952	4,305	4,558	4,589	4,509	4,298	4,178	4,681	4,644	4,467	

主なご質問・ご意見

妹背牛温泉ペペル



Q 妹背牛温泉ペペルの改修計画はどのようなものか。

A 妹背牛温泉ペペルは、オープンから27年目を迎え、配管など設備機器の老朽化が激しい状況です。

令和5年1月で30周年となりますが、今後の改修に向けて令和2年度にリニューアル後の集客状況や経営状況なども含めた調査設計を行います。その内容によって、今後の改修内容を検討していきます。

妹背牛橋



Q 妹背牛橋の工事は順調に進んでいるのか。

A 下部工は今年度で終了し、上部工は来年度から3年間で計画されているため、令和4年度に完成予定です。

キッチンカー



Q 夏場のうらら公園やカーリングホールなどにキッチンカーをおくことはできないか。子どもよりも保護者があの場所に行ったときに食べたり、飲んだりができる場所として提供してあげることができないか。

A 基本的に移動販売は保健所の許可を取れば営業することは可能です。公園の管理条例上では問題はなく、実際にこちらから声をかけたこともありましたが、断られてしまったという経緯もあります。開放期間や営業期間も短く、手を上げてくれるところが無いのが現状です。

空き家対策



Q 第9次総合振興計画の概要版を見る限り、移住定住対策を主に進めて行くと言っているが、10年後には人口が約1000人も減っていく中で、空き家の増加も懸念される。

A 妹背牛町の今後の空き家の対策として、取り壊しのための助成や移住定住の受け皿としての活用を行っていく考えはあるのか。あっせんなどの仲介を町主体で実施していただければ、空き家の戸数も減少すると考えるが、町として今後どのように考えているのか。

A ご質問のとおり、年々空き家は増えていくことが予想されています。そこで妹背牛町空き家等対策協議会という組織を設置しました。その中で町内全域において空き家の調査を実施し、空き家の件数は76件でした。今回76件の空き家に対して国土交通省住宅局が示している外観目視によ

る検査を実施し、活用が困難な不良住宅としては9件ありました。よって、76件中67件が活用可能と判断しています。今後は空き家の管理者に向けて、売買若しくは賃貸を考えているかなどのアンケートを実施し、結果を町で管理した中で、移住者などへのマッチングにつなげて行きたいと考えています。さらに、活用困難な住宅については、現在行っている住宅撤去費助成をPRしながら、撤去について促していきたいと考えています。



ふるさと妹背牛応援寄附



Q 令和元年度の妹背牛町への寄附金額が約2億5千万円という話があったが、実際にはどの程度まちに残るのか。

A 平成30年度に総務省よりルールが示された中で、返礼品にかかる経費は寄附額の3割以内、送料やポータルサイト委託料などの調達価格全て含めて寄附額5割以内となっているため、おむね半分は寄附額として残ります。

妹背牛町産日本酒



Q 妹背牛町産の酒米でつくる日本酒の進捗状況は。

A 妹背牛町産の酒米「すいせい」を使用した純米吟醸ですが、3月末から販売を予定しています。四合瓶で1200本製造。1本あたりの値段は1630円です。日本酒のお披露目を3月20日前後に予定しており、2月中に事前予約のお知らせをチラシで周知する予定です。

※日本酒のお披露目が行われるのは3月16日の夕暮れサロン（場所…わかち愛もせつしひるば）に決定。

地域優良賃貸住宅



Q 小学校裏に建設した所得が高くても入居可能な町営住宅は、1回目の公募で応募者がいなかったようだが、その後どうなったのか。

A 地域優良賃貸住宅という町営住宅です。一般の町営住宅は月額所得が15万8千円以下でなければ入居できません。所得を超える方を受け入れることが出来る町営住宅は13町内にある特公賃住宅の4戸しかない状況で満室

です。そこで、月額所得が15万8千円を超える方を受け入れる住宅が無かったことから1棟2戸を建設しました。1回目の公募は数名相談者がいたものの応募はありませんでしたが、現在1月15日から2月7日まで2回目の公募を行っており、現在2件申し込みを受け付けています。今後も申し込みがあれば、選考委員会で入居者を決定します。

空き家等対策総合支援事業



Q 空き家対策総合支援事業とはどのようなものですか

A 中古住宅購入支援や住宅等撤去費助成をもとと町の単独予算で支出していましたが、空き家等対策協議会を設置し、計画を策定することにより国の補助事業を活用できるため、令和2年度より支出を抑えることができます。空き家対策総合支援事業という国の補

助事業にのせて、その分を移住定住対策として出産育児支援の拡充や引越費用の助成、家賃助成などを行うことが可能となります。

コロナウイルス



Q 中国武漢で発生したコロナウイルスですが、町として、予防策のマスクや手洗いなどの啓発を回覧板などで周知してほしい。また、もしもかかった場合には、どのように対応していけば良いのかなども保健師とも協力して住民周知をお願いしたい。

A 現在、住民周知のため準備を進めています。もし感染者が出た場合には、すぐに病院へ行くのではなく、保健所へ連絡をすることとなるため、まずは健康福祉課への連絡をお願いします。その後搬送なども指示が出されるため、その辺も含めて早急に住民周知をしていきます。

※2月中旬の回覧、ホームページに掲載し、周知を行いました。